

農業鑑定競技日本一！ ～ 日本学校農業クラブ全国大会で最優秀賞を獲得～

熊本農業高等学校・芦北高等学校

「日本学校農業クラブ」とは、全国の農業関係高校で学ぶ高校生約8万8千人が加盟している組織で、熊本県にある農業関係高校11校1分校の全生徒も加盟しています。農業を学ぶ高校生たちが、日頃の学習や研究の成果を発表し、互いを高め合う活動が行われており、プロジェクト発表会、意見発表会、平板測量競技会、農業鑑定競技会等、様々な大会が行われています。全国大会は「農業高校の甲子園」と称される大会で、熊本県の農業クラブ員は毎年優秀な成績を収めています。

平成29年10月25日（水）～26日（木）にかけて、第68回日本学校農業クラブ全国大会が岡山県で開催され、本県からも県大会を勝ち抜いた精鋭たちが、プロジェクト発表会、意見発表会、平板測量競技会、農業鑑定競技会に出場しました。本県の生徒たちは各大会で多くの入賞を果たす活躍を見せましたが、とりわけ農業鑑定競技会では、「食品」の部で熊本農業高校食品工業科3年の中山灯さんが、「森林」の部で芦北高校林業科3年の元村聖華さんがそれぞれ最優秀賞を獲得し、日本一の栄冠を獲得しました。芦北高校の元村さんは、昨年度に続き2年連続の日本一に輝きました。



全国大会で表彰される元村さん(左)と中山さん(右)

芦北高校林業科3年の元村聖華さんがそれぞれ最優秀賞を獲得し、日本一の栄冠を獲得しました。芦北高校の元村さんは、昨年度に続き2年連続の日本一に輝きました。

農業鑑定競技会とは、農業の各分野で使用される器具やその用途、生物・植物の名称、写真等による判定診断や計算などの問題を限られた時間内で答え、その正答数を競うものです。まさに日頃の学習の一つ一つの積み重ねがものを言う競技で、農業の高校生エキスパートを決定するにふさわしい大会です。二人ともこの大会に向けて、工夫を凝らしながら学習に励んできました。

今回全国大会に出場した本県農業関係高校の生徒をはじめ、県内各地のクラブ員たちのさらなる活躍に期待が高まります。

< 受賞者のコメント >

熊本農業高等学校 食品工業科3年 中山 灯さん



初めての全国大会出場。農業鑑定競技は出題範囲が広いこともあり、勉強を続けるのが辛いこともありましたが、しかしその中でも着実に実力が身につけていることが実感でき、やりがいも感じました。そのため、全国各地からの多くの手強い出場者と競うという不安はありましたが、それまでの積み重ねを信じて競技に挑むことができました。支えてくださった方々への感謝を忘れず、この経験で得た力を活かして、今後は何事にも積極的に挑戦していきたいです。

謝を忘れず、この経験で得た力を活かして、今後は何事にも積極的に挑戦していきたいです。

芦北高校 林業科3年 元村聖華さん



「鑑定競技2連覇」 去年の全国大会後、1年後の私自身に課した宿題であり、高校生活最大での目標でもありました。今年は進路に向けた勉強と両立して取組まなければならず、不安と焦りを感じながらも最後まで頑張ることができました。これまでお世話になった先生方や朝早くから夜遅くまで切磋琢磨し合った仲間、支えてくれた家族に心から感謝します。私は来春から熊本県林業職の職員となります。これまで身につけた専門知識や技術を生かして頑張ります。

職の職員となります。これまで身につけた専門知識や技術を生かして頑張ります。

(文責 芦北高等学校)



農業鑑定競技会(写真はH28年度全国大会)